

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日:	令和7年6月4日
事業者名:	丸文サービス株式会社

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み		関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	更生タイヤやリビルト品の有効活用 エコドライブの推進によるGHG排出量の削減 社内のLED化を通じた省エネへの貢献		⑦エネルギーをみんなに そしてクリーンに, ⑬気 候変動に具体的な対策を	運送用トラックにおける、タイヤの 入れ替え時期には更生タイヤを50% 使用している 温室効果ガスでは、エコドライブの 実践に向けた社内全体の意識醸成を 図る目的で、車両には100%デジタ ルタコメーターの導入を行っている 社内のLED化は70%導入済	指標	更生タイヤの使用率 エコドライブを通じた燃料使用量の削減
					目標	令和6年度比、令和9年度までに 更生タイヤ使用率100%を目指す 令和6年度比、令和9年度までに 燃料使用量を5%削減を目指す
社会	工業廃水の適切な処理のための消石灰供給を 通じた環境保全への貢献 ボランティア活動への積極的な参画 あしなが基金への寄付継続		⑪住み続けられるまちづ くりを, ⑰パートナース hipで目標を達成しよう , ⑥安全な水とトイレを 世界中に	工業廃水の適切な処理のための 消石灰供給において、365日 継続供給 高齢化が進む地元地域の耕作放 棄地でのボランティア活動（除 草作業を通じた鳥獣被害対策） あしなが基金への寄付継続（約 6年継続）	指標	消石灰の供給日数 ボランティア活動の実施回数 あしなが基金への寄付継続年数
					目標	消石灰に関しては、引き続き365日継続した 安定供給100%を目指す 令和6年度、ボランティア実施回数3回だった ものを令和9年度までに年間5回実施を目標と する あしなが基金に関しては引き続き継続した寄付 を行う
経済	適正な在庫管理の徹底による円滑な経済活動 への寄与 地元人材の雇用による地域経済活性化への寄 与		⑪住み続けられるまちづ くりを, ⑰パートナース hipで目標を達成しよう	適正な供給量を継続すること で市場における資源の枯渇、 不足を未然に防止 令和6年度時点において、従 業員はすべて地元人材を採用	指標	資源廃棄量 地元人材雇用率
					目標	令和9年度までに資源廃棄量を0%を目指 す 人材確保が課題とされる中で、当社にお いても人材不足が懸念される場合、地元 人材を80%以上と今後も積極的に地域経 済発展に向け取り組む
ガバナンス	チェック					
	☒	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。 ＜具体的な内容を記載＞ 支援金融機関主導のもと、SDGs宣言書を策定。SDGsの取組内容について宣言書を通し従業員に周知。今後の取組方針においても情報共有を図っている				
	☒	SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。 自社にホームページはないものの、当社のSDGsに対する取り組みは（株）富山第一銀行のホームページにて対外的に公表している また、フェイスブックで発信したり、事務所受付や、出入りの多い車庫、倉庫の入り口に取り組み内容を掲示している				